

＝たまがわ才5

ひ3は



平成6年 3月20日
鈴木 武一
用賀出張所
TEL. 3899-3657

第 31 号	行 任	号 局
--------	-----	-----

息子の転勤

瀬田五右衛門 大塚 澄子

三月一日付で次男が米國
SM本社に転勤の為、三日
に懐かしく日本を發って行
った。

昨年八月に内示は出ていたのだが、いざ別れとなるのとつらいものである。主人は家で送ると言う。御先祖様へお報告をあげさせて出発。生後二ヶ月半の三女「愛」とだっこして箱崎でエックイン、成田へ向かう。

今度会う時は、この子も大きく成長している事だろうと思うと自然と涙が出て来る。四、五年は帰れないだろうと言う。異國でのなれない生活、やはり親として不安はつもの。

「ババちゃん、お土産一杯持つて会いに来てね、必ずだよ。」孫の言葉。出会いは良いが別れはつらいものである。「親父の健康に気を付けて、おふくろも元気でな。」力強い握手と抱擁。時々、走馬燈の様に成田の別れが頭に浮かぶ。今日此の頃である。

愛する石公園

四季をまろること感じがな
う都会生活を公園で楽しん
でいます。(春、野草をとり
野趣豊かに味わう。夏、木
陰で涼やかな風の中、休む
秋、つるでパン簾などを織
む。(冬、小枝の形を生かし
スレートに貼り、壁掛けに
作る。他にも自然の中での
遊びを家族で楽しんだり、
健康の爲、体操をするのも
す。これからは、春の訪れ
を際しながら芝生の絨織で
花見、そんな至福の時を持
てるのも同じ喜びを分かち
あえる仲間と一緒にだから……
祐公園で一緒に楽しめませんか。

春の家

「お母さん知っている？
山芋やハツ頭は土に埋いけて
おくけど、じゃが芋はだめ
とおじいちゃんから聞いた
」と大学生の娘。

家族
江邦田禪

大根、茄子、トマト、白菜等々。最近には、モロヘイヤやモロツツ、いんげん作りも行い、畑は冬節ごとに繰豊かになります。

高橋生の息子は現代、子
宜しく、祖父にアルバイト
と称し、植木の手入れを手
伝い、お駄賃をもらいます。
自然を愛する豊かな心が
祖父から伝えられています。



春は家族

って、デートボールの人たちも、早朝から元気に活躍しています。

学生さんは新らし好きでハイアラ〜とかラクロスやアメリカンフットボールなど、川糸も多彩です。

馭前の空想

「ワァーイ蛙の卵だノ」
「寒天みたいだね」
「気持ち悪い」
「あ、何か動いたノ」
「エビが二かねえ？」
「イヤどじょうじゃない？」
「オーイ学校遅れるぞ早く行こうよ」

元氣な事が聞えていました。
 両が変り玉音が新三川終にな
 り、昨昔は24階のビルが完成し
 私達にとっては便利な町に作り
 直けています。周りからも用賀
 はよくなりましたねと羨ましが
 られています。

おまけにエビカニや
 夏はギンヤンマもいるんだ
 と言えり町になったら良いナ
 と思う
 セイタクかな？……。

浮世の楽
飲水 武一

園遊さんは極めてマツ
 毎ねん同族ナントカ年
 児壹年やら婦人年
 青年ねんもありました
 今年しつ同族家族年
 家族居なけりや児はいない
 さあさ春だいい花だより
 チチ・ハハあつて兄が
 だから元氣なボクが居る
 兄の愛から始まつて
 又愛この愛隣人愛
 近所づきあい郷土愛
 愛同心へと進むかな
 逢うは別れの始めとか
 日暮れの最後の瞬間は
 夜明けの最初の瞬間だ
 よう下始めは日の出から
 地球は廻る日はまわつ
 日進月歩とゆうより
 三日見ぬ間のサクラかな
 昨日は今日に成りません
 自然公転 天変地変
 地球と自然のまじわりは
 神様だけがご存じよ
 お若い衆の天かたは
 唯我独尊 自我巧利
 親の言う事さくもんか
 なあんで強がり毒づいて
 自由かっ手に世界旅
 甘さの味がふふ飛んで
 辛まばかりの五十坂
 峠の月が憂るころ
 うちそともめ事難事件
 何かと俺にからみつく
 そんな冷たい夕まぐれ
 カラマの声が氣になつて
 飛んで帰つたうちのドア
 嬉しい仲間、おい家族ッ
 隠し味だよ愛情は
 ホロリ涙がしみてくる
 家族
 ほんとに 有難うー。

